

平成29年度 別府市共生社会形成プラン H29.8.1変更新旧対照表

| No | 条項 | 条文 | 分類 | 中長期方針 | 変更前 | 変更後 | 担当課 |
|----|-------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------|------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------|
| | | | | | 計画 | 計画 | |
| 10 | 第11条 第2項 | 市は、市営住宅においては、障害のある人にとって必要とされる住戸を確保するよう努めるとともに、民間共同住宅においては、障害のある人にとって必要とされる住宅の整備が促進されるよう支援に努めるものとする。 | 生活環境に関する合理的配慮(住宅確保) | 市営住宅については、建替え・新築の際には車いす対応住戸を確保する。 民間共同住宅については、必要とされるだけの住宅が整備されるよう支援策を講ずる。 | (建築指導課)平成29年度については、建替えや新築の予定はない。今後、10年以内に老朽化住宅の建替を計画する。 (障害福祉課)民間共同住宅整備支援について国等の制度設計を注視し、情報周知に努める。 | (建築指導課)平成29年度については、建替えや新築の予定はない。今後、10年以内に老朽化住宅の建替を計画する。別府市公営住宅等長寿命化計画で定めた、車いすに対応した住宅の供給目標40戸を達成できるよう、今後、建替えや新築の際に整備を行う。 (障害福祉課)民間共同住宅整備支援について国等の制度設計を注視し、情報周知に努める。 | 建築指導課 障害福祉課 |
| 13 | 第11条 第5項 | 市及び事業者は、障害のある人の公共交通機関の利用を円滑にするため、障害のある人にとって必要とされる体制の整備及び研修の実施に努めるものとする。 | 生活環境に関する合理的配慮(公共交通機関の円滑化) | 交通事業者が障がいのある人の利便に資するような輸送サービスを改善できるような環境づくり等を行う。 | 本市内における公共交通の利用円滑化を図るため、別府市公共交通活性化協議会において、交通弱者のニーズ把握に努め、事業者との共通理解を図るとともに、バリアフリーに関する国庫補助事業メニューを交通事業者に周知することにより、より良い輸送サービスを実現する。 | 本市内における公共交通の利用円滑化を図るため、別府市公共交通活性化協議会に障がい者福祉団体代表等の公共交通利用者代表委員を増員し、交通弱者のニーズ把握に努める。 また、事業者との共通理解を図るとともに、バリアフリーに関する国庫補助事業メニューを交通事業者に周知することにより、より良い輸送サービスを実現する。 | 総合政策課 |
| 25 | 第16条 | 市は、障害のある人が芸術文化及びスポーツに参加することができるよう障害のある人にとって必要とされる支援体制の整備、指導員の育成及び情報提供を行うよう努めるものとする。 | 芸術文化及びスポーツに関する合理的配慮 | 芸術文化活動、スポーツ活動の場を提供し、その情報を十分に周知するとともに、指導員の育成支援を行っていく。 | (芸術文化)平成29年度も昨年度に引き続きアール・ブリュット展を開催する。開催に当たっては、来場者数増加及び、来場者の満足度を高める企画をする。 (スポーツ)引き続き、ボッチャ、水泳、卓球バレー教室を委託により開催し、より多くの人に参加できるよう広報活動に力を入れる。 | (芸術文化)平成29年度も昨年度に引き続きアール・ブリュット展を開催する。開催に当たっては、来場者数増加及び、来場者の満足度を高める企画をする。 また、平成28年度に開催した「湯にば～さるファッションinべつぷ」を開催し、今年度は障がい者だけではなく、高齢者等にも目を向け、さらに拡充した内容を企画し、障がい当事者による共生社会に向けての情報発信をしていく。 (スポーツ)引き続き、ボッチャ、水泳、卓球バレー教室を委託により開催し、より多くの人に参加できるよう広報活動に力を入れる。 | 障害福祉課 |